

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
発達心理学Ⅲ(生涯発達) Lifespan Developmental Psychology Ⅲ		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	福屋 いずみ	
概要				
生涯発達の視点から人の発達について、それぞれの発達段階の特徴を知ることが目的とする。また発達課題の連続性を考えながら人の一生をながめる視点を解説する。なかでも青年期以降の人の発達についてくわしく学び発達の連続性を知る。				
到達目標				
(1) 生涯発達の視点の重要性を解説できる。 (2) 青年期の特徴と発達課題を説明できる。 (3) 成人期の特徴と発達課題を説明できる。 (4) これまでの自分をふりかえりこれからの自分について考え、それを表現することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 生涯発達心理学とは（ガイダンス） 2 青年期を理解するために①信頼感と不信感 3 青年期を理解するために②自律性と恥、主導性と罪悪感 4 青年期①：アイデンティティ 5 青年期②：友人関係、親子関係 6 青年期③：恋愛 7 映画から青年期を考える 8 映画から青年期を考える 9 成人前期①：就職、結婚 10 成人前期②：親になる 11 成人中期①：就職における成人中期の危機 12 成人中期②：夫婦生活、家族における成人中期の危機 13 成人後期①：特徴と危機 14 成人後期②：死の受容 15 これまでの自分・これからの自分				
テキストおよび 参考文献	プリントを配布する (参考文献) 岡本 祐子・深瀬 裕子 (2013) エピソードでつかむ生涯発達心理学 ミネルヴァ書房			
メッセージ など	これまでの自分、今の自分、これからの自分と照らし合わせながら講義の内容を考えていければと思います。 保育士証：選択必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 生涯発達の視点の重要性を解説できる。	生涯発達の視点をもって、事象を十分に解説することができる。	生涯発達の視点をもって、事象を概ね解説することができる。	生涯発達の視点をもって、事象の基礎的な用語を解説することができる。	生涯発達の視点をもてず、事象を解説することができない。	毎時の課題 (知識・理解)	20%
(2) 青年期の特徴と発達課題を説明できる。	青年期の特徴と発達課題を十分に説明することができる。	青年期の特徴と発達課題を概ね説明することができる。	青年期の特徴と発達課題の基礎的な用語を説明することができる。	青年期の特徴と発達課題を説明することができない。		20%
(3) 成人期の特徴と発達課題を説明できる。	成人期の特徴と発達課題を十分に説明することができる。	成人期の特徴と発達課題を概ね説明することができる。	成人期の特徴と発達課題の基礎的な用語を説明することができる。	成人期の特徴と発達課題を説明することができない。		20%
(4) これまでの自分をふりかえりこれからの自分について考え、それを表現することができる。	生涯発達の視点からこれまでの自分とこれからの自分について考え、それを十分に表現することができる。	生涯発達の視点からこれまでの自分とこれからの自分について考え、それを概ね表現することができる。	生涯発達の視点からこれまでの自分とこれからの自分について考えているが、表現が不十分である。	生涯発達の視点からこれまでの自分とこれからの自分について考えられず、それを表現することができない。	レポート (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	40%